



《現状把握》

自尊心、規範意識が高いのは、家庭の協力があることはもちろん、学校生活において、生徒たちが1つ1つの活動に一生懸命取り組んでいることが一因として挙げられる。学力においては、「学力向上に向けた取組・指導方法」が平均を上回っているのに対して、国語、数学共に平均値を下回っている。引き続き、家庭学習を呼びかけ、基礎的な知識の定着につなげたい。

《授業改善のポイント》

【国語】
書くことにおいては、条件を与えて論点を分かりやすく書くように指導する。また、ある程度まとまりのある文章を書く機会を組み込む。読むことにおいては、読書活動、ビブリオバトルなどに取り組み、書かれた文章や、友達の意見の大意を要約する力が身につくよう指導する。

【数学】
数学への関心は、平均的な水準に達してはいない。しかしながら、基礎学力にかけるため、式・図・グラフなどが何を表しているかといったことが理解できない傾向がある。数多くの問題に触れながら数学的な意味を確認させる。

《チャートの特徴》

自尊心、規範意識については全国平均をやや上回っているが、電子メールなどの長時間の利用傾向は減っていない。学習習慣は全国平均をやや下回るが、数学への関心はほぼ全国平均である。国語A、B、数学Aの結果は昨年度よりやや上回ったが、各教科において知識の定着を支える点に課題はある。

《家庭・地域への働きかけ》

引き続き家庭学習を呼びかける。また、「江戸川っ子・家庭ルールづくりについて」のプリントを通して保護者と連携をとり、SNSの利用時間について共通の認識をもつ。地域ボランティアへの積極的な参加を促し、地域とのつながりを保つ。